

教育・保育に係る量の見込み及びその提供体制の確保方策（R元実績）

参考資料 1

（単位：人）

	1号認定（2号認定以外の3～5歳児）			2号認定（保育認定を受けた3～5歳児）							1号+2号 (③+⑥)
	量の見込み (需要量) ①	確保方策 (供給量) ②	③ (②-①)	量の見込み（需要量）			確保方策（供給量）			⑥ (⑤-④)	
				④ (A+B)	教育ニーズ A	保育ニーズ B	⑤ (C+D)	教育保育施設 C	地域型保育 D		
計画値	6,398	11,728	5,330	20,800	3,855	16,945	19,049	18,805	244	▲ 1,751	3,579
実績値	-	9,099	2,701	-	-	-	20,672	20,578	94	▲ 128	2,573
差（実績-計画）	-	▲ 2,629	-	-	-	-	1,623	1,773	▲ 150	-	▲ 1,006

	3号認定（0歳児）				3号認定（1・2歳児）						需要量 (総数) I ①+④+⑦+⑩	供給量 (総数) II ②+⑤+⑧+⑪	II-I ③+⑥+⑨+⑫
	量の見込み (需要量) ⑦	確保方策（供給量）			⑨ (⑧-⑦)	量の見込み (需要量) ⑩	確保方策（供給量）			⑫ (⑪-⑩)			
		⑧ (E+F)	教育保育施設 E	地域型保育 F			⑪ (G+H)	教育保育施設 G	地域型保育 H				
計画値	3,239	3,533	3,442	91	294	12,194	12,489	12,156	333	295	42,631	46,799	4,168
実績値	-	3,837	3,714	123	598	-	12,150	11,839	311	▲ 44	-	45,758	3,127
差（実績-計画）	-	304	272	32	-	-	▲ 339	▲ 317	▲ 22	-	-	▲ 1,041	-

○量の見込み（需要量）は、平成26年時点の教育・保育施設の利用状況に、今後利用したいという潜在的な利用希望を加えたものである。

○確保方策（供給量）は、平成26年時点で、各市町村の利用定員数を積み上げたものであったが、1号、2号及び3号の全てにおいて、計画を下回る利用定員となっている。

○今後とも、施設整備（ハード面）、保育士等の確保（ソフト面）及び利用定員調整（ソフト面）等により、適切な需給調整となるよう市町村と協議してまいりたい。

【参考】各施設利用児童数 1号+2号：27,954人、3号（0歳）：5,109人、3号（1・2歳）：12,576人 計45,639人